

No. 136
—発行日—
2016. 9. 1
—編集—
長崎工業高校新聞部
—発行—
長崎工業高校新聞部

優勝・自動車整備
見事、二連覇

▲見よ、これが日本一の作業だ！

優勝&三位 木材加工
今後の活動に
生かして

沖縄市体育館で行われ
た木材加工部門。結果は
I3吉田りさこさんが金
賞、I3永川留華さん銅
賞を受賞しました。

将来の選択、
目標を持って

三年生はいよいよ就職試験が始まります。職場を選ぶ上で重視することは人それぞれです。私は最終的に「仕事内容」を一番に重視しました。もちろん、給料面や休みの数なども大事です。しかし、いくら給料が良くても、休みが多くても、そこに楽しさややりがいがないと続けないで、ついでに進学と就職の選択、さうしてその中でどのように進んでいくかの選択は人生を大きく左右します。それぞれにメリット・デメリットがあり、何が正解というのはありません。進学の道を選べば、就職までの時間が与えられ、たくさん経験を通して

じつくり自分の進路について考えることができません。一方、高校卒業後すぐに就職すると、進学に必要な学費がかからず、早く仕事を身につけ、自立することができそうです。ただ、どちらでも言えることは、目標を持つことが大切だし、出している厚生労働省が出している具体的なデータをもとにみると、平成二十四年卒の卒業生の三年後の離職率は32.3%、大卒は4.0%もいます。高卒では4.0%もいます。



▲ 文化祭に向けて頑張ります

てくれました。
二人の後に続く後輩の
の活躍に期待しています。

敢闘賞 機械製図
悔しくも

三位までもに届かず
宇都宮市体育館で行われた機械製図部門。長工からM2才木純也君が参加しました。結果は上位三位には届きませんでしたが、敢闘賞を受賞しました。

後日、才木君に話を聞くと「一競技は難しくてでもイマイチだった。初めての参加というこもあり緊張したし、皆真剣で静かだった。今回ミスが多かったので間違えた部分を今後直していきたい」とのこと。

た。初めて参加ということもあり、舞い上がりなっていた。普段しなやかなミスもあり会場に吞まれていた。この経験は今後社会に出てからも役に立つ」とのことでした。

「この経験を生かしての来年の活躍、期待します」

世界と戦う
一ものづくり
審査員に
聞きました

世界と戦う
「ものづくり」
――審判員に
聞きました

審査員に
聞きました

感想をとうとう「昨年から技能検定機械ブランド制

真剣に臨む

長崎県

ものづくり県大会の電気工事部門の審査員として来られた九電ウグルーの森元信幸さんと戸高弘文さんに突撃インタビューをしました。

Ｑ今回のもづくり大会はいかがですか。

Ａ未完成の人が多い。基本的な墨の間違い、学校間のレベルの差が目立った。そこが採点に出たＱものづくりをする上で大切なことは何ですか。

Ａものづくりの基本は基準から。基準が遅いと最初は少しでもどんどん差

今日の
一枚

く暑い夏にはく

暑い日は
アイスクリームが
一番だもの

夏は暑い。そんなとき食べたくなる物といえばアイスクリームではないでしょうか。今回は一枚の夏休みに合わせた被爆資料館近くの売店で買ったチリンチリンアイスです。驚く事に先生の奢り。これを借りにされたらどうしようと思いつつ、今日の部活来なかつたらドンマイ! と思いつながら頂きました。やはり他人の金で食べるものほど美味しいものはありませんね。どや! (渡部)

青春
日記

A decorative graphic featuring four balloons (green, blue, yellow, and red) and a black musical note, all enclosed within a pink rectangular border with a diagonal line.

うか。ミニストツブというコンビニが長崎にたつたのはこの事を知ったとき、私人生で九番目くらいに絶望しました。なぜかつて「ハロハロ」が食べたいからだよ！ハロハロとは何かフルーツとソフトクリームと氷の甘冷たい三重奏（らし）知合いに勧められて画像検索した瞬間、絶対に美味いと目をつけていた一品。しかし、ハロハロを取り扱っているのはミニストツブのみ。一度は最寄りのミニストツブへ佐賀まで行くかと考えました。ぐぐぐ。往復料金が手持ちのお小遣いとはほぼ同額：無念。買えぬなら作ればよからう。ホトトギス、工業高校生たるもの作ってなんぼですよ。というわけで材料を用意。

足。お菓子作りには注ぎます。よう。美味しくなれませう。念じながら飾るのがツクリームが飛び散るなどありましたがなんとか完成。ではなかろうか。見た目よしとして味はいざ実食。うお：それぞれがバラバラに主張してくる口の中で色んな味が混ざり合ってる：ダメだこれ。一応、弟の分も作って冷凍庫に放り込んでおいたけれど。果たして弟は私の特製ハロハロ☆を無事食べることができのか？

後日、私が作ったハロハロ☆は冷凍庫の中で変化を遂げ、普通に美味しいアイスとなっていました。「これ兄ちゃんか作ったんだぜ？すごくおいしいか？」。当初と目的は変わってけれども、弟が完食してくれたので私は満足。（松尾）

全国での経験を

来年へと繋いで インターハイ

七月二十八日から八月二十日に掛けて、中国地方を中心に行われた2016情熱疾走中国総体。今回、フェンシング、ソフトテニス、ヨットの三競技に長工が参加。その結果を紹介します。

接戦繰り返して 女子個人エペ6位

フェンシング

七月二十九日から八月二日に山口県岩国市総合体育館で行われたフェンシング競技。C3田中あやさんが全国の選手相手と接戦を繰り返して田中さちあがり、エペ6位入賞。この結果について田中さんは「九州で優勝したこともあり、一試合も負けられないという気持ちで強く、ベスト8まで残れたのは本当に嬉しかった。最後の試合で六つ差の時、しっかりと喰いついていくことができた」と話した。



新キャブ
テン

旧キャブ テン

に優勝を狙い、とくに人数の少ない女子には頑張りたい」と話した。後輩の思いを語ってくれたのは、部長のD3富川翔太朗君は「達成できなかった目標に向かって頑張った。大会に出場した新部長のP2山下療哉君は「もともとレベルを上げないといけない」と話した。来年はベスト8を目指して頑張る」と話した。顧問の平先生は「田中が入賞、入賞は石田がベスト8に入ったことで良かった」と結果に安堵のようすでした。



▲フェンシング表彰式

チーム力向上がカギ ヨット

和歌山県のマリナーナシテで行われたヨット競技。会場では、ピリピリとした空気が流れ、緊張

立ち塞がるは、全国の壁 ソフトテニス男子

八月一日から四日にかけて岡山県備前テニスセンターで行われた長工からA2野田尊君とC2畑本理士君ペアが出場。



▲ヨットの前で集合写真

抱負を語ってくれました。また、三嶋先生は「今回はいい経験ができた。来年はメダルを獲得に向けて抱負を語ってくれました。」

結果は、一回戦宮城県の選手に、対四で敗北。後日、野田君に大会の感想を聞いたところ、全国大会という緊張感のある大きな舞台での試合は他の選手と勝てないことが分かった」と話してくれました。



▲A2野田尊君

また、顧問の大槻先生もお話を伺うと「全国の舞台で雰囲気にも慣れてしまった」とのこと。今年出場したペアは二年生。今回の経験を糧に来年のさらなる飛躍を期待しています。

てふ互生!!!

～卒業した先輩たちが～

あつ先輩！
久しぶり
えっ？誰だれ
昔と変わらない
な
けど、何か先輩の髪がさぶさ～
…後輩に遊ばれるころも
蟹のせこる
みたい(笑)
※ また遊びに来て下さい!

高総体 この一枚 (その2)

祝！五連勝
勝利のポーズ
この写真は、試合終了後にチーム全員が勝ったことを喜んで一枚です。長崎工業は西高校に

ロボコン道

絶賛整備中

ガタガタ：ガタ。どうもギアとレールがうまく噛み合っていない様子。大雑把な私にとつて今行っている微調整はたいへん苦痛です。小さなズレで機構がさくさく動かない。なんてことザラにあります。この微調整が勝敗を決めるとなると気が合が入らないわけがあり

▲ガタガタ…ガタ…

試行錯誤を 重ねて 岩屋&太陽丸 五位入賞

八月六日に福岡県柳川市で行われたソーラーボート大会。太陽光を原動力にして動くソーラーボート。毎年P科の課題研究の一つとして取り組まれているが、今年もP3生徒がA班「岩屋」B班「太陽丸」のソーラーボートを携えて出場。周囲コースとスラロームコンテストの二競技に臨み、周回コースは一周、約三・一kmのタイムレース。太陽丸は六位で予選を通過。岩屋は十四位で予選を敗退。太陽丸は決勝進出

▲「太陽丸」出航！！

喜びのガッツポーズ！

今回を含めて五連勝。ですが、試合は接戦。競り勝って連勝した喜びを体をつるに使用して喜んでいきます。会場には、たくさんの方々が応援に駆け付け、得点する度に大きな歓声が飛び交ったのがとても印象的でした。試合終了の合図が鳴った瞬間は私も思わず喜びをあげて一緒に喜んで喜びました。(塚根)

後編 記録集

今回の新聞、インターハイについての記事も多々あり、取材に行き加えて並行して次号を作成し、早めに出せそうです。

（上杉）

試合終了の その後は…

この写真は試合直後、挨拶のときの写真です。顔を歪め悔しそうにしてる人もいます。試合や大会直後、その人たちの表情や態度を見れば、各々がやっていたことや、各々が抱えている課題が読み取れます。強いの手が進みません。これを克服するために、二週間、勉強し続けたいです。

（武石）

一年生な 日々☆

夏休みも残り少なくなりましたが、八月も半分過ぎました。終わらない課題に追われながらも、私はこの文を書いています。今年こそは、早めに終わらせようと思つてたはずなのに、今日この頃です。焦りがじりじりと擦り寄つてくる。今日この頃です。焦りがじりじりと擦り寄つてくる。今日この頃です。焦りがじりじりと擦り寄つてくる。

一年生な 日々☆

の最後のところで船が止まり、もうすぐ、五位入賞という結果で嬉しかった。来年は後輩達に頑張つて優勝してほしい」と大会を振り返って話してくれました。

指導をされた上野先生にお話を伺うと「今回の試走は例年よりも行い、プロペラの研究に力を入れた。入賞はできたが、スピードが思ったより上がらなかった。部活をやりながら、空いた時間を見つけてよく頑張つて研でスピードアップのために研究をしていた。」と話されていた。毎年、試行錯誤を重ねるP科の課題研究。優勝がとれる日は近い…？